

佐保小学校保護者説明会での質疑応答、意見等要旨（令和6年10月22日）

◇説明内容

新校舎建設工事に関する説明事項（教育政策課・建築デザイン課より）	
・新校舎建設工事に関わるこれまでの経緯 8月9日開札予定であった新校舎建設工事の入札が不成立 8月30日令和6年度奈良市議会9月定例会に、建設工事費債務負担行為額を12億2,400万円増額する補正予算の議案を提出 9月25日行財政改革及び公共施設等検討特別委員会で議案が否決 9月30日令和6年奈良市議会9月定例会で議案が否決 ・議会で審議された主な論点 「増額約12億円について」、「工事期間について」、「開校時期について」が主な論点であった。 ・新校舎建設に係る現状 当初の予定では10月から新校舎建設工事に着手することになっていたが、現状は議案の再提出にむけて精査中である。 ・今後の予定 現在、工事費や工期の見直し等について精査中である。詳細な内容については、決まり次第お知らせする。 ・補足事項 建設工事は建築、電気、機械の工種で構成されているが、今回電気と機械の物価上昇が予想を上回るものであった。	

◇質疑応答内容

校舎建設について	回答
1 最近の物価高騰は今後も改善されるような気配はない。その中で9月議会で補正予算案が否決されたということだが、新校舎の完成を楽しみに、窮屈な環境の中での日々頑張っている子ども達への影響は考えていただいていたのか。	議会の審議では、子どもたちが楽しみに待っていること、これからの教育に対応した施設を整備することが必要であると発言された議員もいた。しかし、どちらかというと、急激な物価高騰が反映できていなかったことや、金額・工期についてが、争点であったと認識している。
2 新校舎建設工事が遅れていると思うが、瓦礫や柵で規制されている運動場を工事再開まで子ども達のために使わせてあげることが出来ないのか。	現地も確認し対応について検討している。瓦礫については、新校舎建設に伴い既存校舎の先行解体を行うが、その時に撤去することを考えている。発掘調査の埋め戻しは終わっているが、発掘の影響でグラウンドの表層にも瓦礫が出てきている。その整備についても必要になると考えている。それらを踏まえてスケジュールを組み、新校舎建設までの間に使用できるかについては改めて検討し報告させていただく。
3 今の4年生は6年生になってから新しい校舎で過ごすことを楽しみにしている。工事の完成が遅れると思うが、わずかな期間でも新校舎で過ごすことができるのか。	早期に着工することができれば、今の4年生が6年生の年度途中には新校舎は完成する予定である。少しでも新しい校舎で学んで卒業できるよう取り組んでいく。
4 運動場の利用が制限されており、中休みと昼休みで別れ、3学年ずつしか休み時間に外で遊ぶことができていない。このような現状についてどのように考えているのか。	教育委員会と学校でしっかりとどのような方法があるか調整し、子ども達のために対応していきたい。
5 今回の説明では「新校舎建設にお金がいりませんでした」という印象しか残っていない。もっと具体的に誰が責任を持ってスケジュールを立てていくのか説明してほしい。	今回の説明会では入札が不成立となったことのみの説明となり申し訳ない。今、次の議会で提出する補正予算額を精査中である。それ以降のスケジュールについては見通しが立ち次第説明する。 奈良市のモデルとなるような学校建設についてはしっかり進めていく。
6 予想を超える物価高騰という事であったが、約51億円のものが約12億円上昇することがどれほど予想を超える物価高騰であったのか疑問である。	積算の段階では、1.3倍の物価高騰を反映して積算していた。しかし、電気設備と機械設備が1.7倍、1.8倍という予想を超える倍率で伸びていた。
7 説明の中で、工事費や工期の見直しをするとあったが、何をどうするのか。	費用の減額については、スケール・規模等を変更するのではなく、仕様の一部見直しをしている。 子ども達が学習で使用する部分については維持し、それ以外の部分での見直しをしている。
8 次の議会で予算が通った場合、工期の遅れはどれくらいの見込みか。	半年程度遅れる見込みである。
9 佐保小学校が綺麗になることは嬉しいが、他の学校はどうなるのか。 ハード面にお金をかけるだけでなく、ソフト面にもバランスよく予算を配分してほしい。	奈良市の他の学校については、築年数と規模によっても変わってくるが、校舎の長寿命化を図っていく際には、新しい学校で取り入れたコンセプトをできる限り反映し実施していきたい。 ソフト面については、教員の増員配置については県、国に要望していきたい。また、奈良市では多様な学びに力を入れており、不登校対応や特別支援教育の充実を図っている。通級指導教室の設置や公設フリースクールの設置などの施策を実施している。
10 新校舎建設までの間、窮屈に過ごしている子ども達がどのような状態にあるのか確認し、学校の意見を聞いてはどうか。	学校にも足を運び今の子ども達の状態を確認し、校長とも意見交換を行い対応していきたい。
11 12月議会で予算が審議されると思うが、その後の具体的な情報はどのような形で保護者に知らされるのか。説明会に参加していない保護者にもしっかり伝わるようにしてもらいたい。	基本的には、若草中学校区新小学校開校準備委員会で説明し、そこから各団体に伝えていただくことになる。しかし、伝わるには、ある程度の時間がかかるので、学校・PTAと調整のうえ、情報の中身によっては、さくら連絡網の発信や説明会の開催などにより、保護者の方々に適切に情報をお伝えしていきたい。

統合再編について	回答
1 統合再編スケジュールについて、新校舎の完成が遅れるのであれば、統合再編も遅れるのか、予定どおり進めるのか。個人としては校舎完成と合わせて統合再編するのがベストではないかと考えている。	令和8年4月開校となれば、既存の校舎に鼓阪小学校の子ども達が合流することになる。少しでも早く一緒に学ぶことと、新しい校舎の完成後に統合再編を実施することのどちらが子ども達のために良いか、佐保、鼓阪両地域の保護者や地域の皆様の意見を聞きながら検討していきたい。
2 新校舎の建設と統合再編はどのような関係にあるのか。国の補助金は統合再編を目的としたものを予定しているのか。	鼓阪小学校と佐保小学校の統合再編を前提とした校舎建設である。国の補助金についても統合再編を前提としたものになっている。統合再編については、より良い教育環境の実現に向け計画通り進めていく。
3 統合再編時期について、通学路の問題もまだ解決していないと聞いている中で、工事中の引っ越しとなれば反発は大きいのではないか。	統合再編に際し、通学路交通安全プログラムを実施し、通学路の点検を行っており、危険箇所については、安全対策を実施していく。また、鼓阪小学校の保護者とは、通学路の安全対策やスクールバス等について今後具体的に話を聞きながら対応していく。

意見	
1 説明の中で「当初のスケジュールも入札不成立に影響を与えたのではないか」とあったが、もともとのスケジュールに問題があったのではないか。	
2 子ども達も新しい校舎をものすごく楽しみにしているので、なんとか実現に向け動いていただきたい。	
3 おそらく想定外の物価高騰と思うが、補正予算が否決され心配している。奈良市がコンセプトを持ちモデルとなるような学校建設に、地域は期待感している。果たして、グレードを下げて建設することがふさわしいのか。早期の工事着工、完了のため、議会の理解を得よう市側にも努力してほしい。	
4 佐保小学校の近隣の自治会にもしっかりと説明してほしい。	